



2023 年度
第 18 号

体育市民連帯 ニュースレター

1
恐怖の
「カンスビ」
目を閉じた暴力



2
仁川広域市
重量挙げ連盟役員
学生へのセクハラ
もみ消し疑惑



3
孫興民に向けた人種差別
今季だけで3度目
また？鳥肌が立つ
人権団体爆発



4
娘を産んだ MVP
バスケットボール伝説
平昌銀
金ボルトムが気になった事



5
スポーツ倫理センター
2023
ソウル
ハーフマラソンに参加



大韓民国スポーツの

根本的变化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？



01 MBC ニュース 2023.05.07

恐怖の「カンスビ」、目を閉じた暴力



アンカー

ある小学校バレーボールチームのコーチが児童虐待の疑いで警察の取り調べを受けています。

訓練途中に倒れた生徒に向かってボールを強く叩きつけ、足で蹴る姿などが CCTV で確認されましたが。

しかし、多くの親がコーチをかばっています。

なぜでしょうか？

チェ・ギョンジェ記者が取材しました。

レポート

3月1日、ある小学校の体育館。

コーチがトレーニング中にひっくり返った選手に向かってボールを強く打ちつけます。

今度は壁に立った子供に向かって休まずスパイクを繰り返します。

転んだ子供を足で蹴ったりもします。

このバレーボールチームはこれを「カンスビ」と呼んでいます。

[キム・ソン Chol/〇〇小バレーボールチームの保護者]

「1人当たり10分もしたそうです。顔を殴られる時もあれば、お腹を殴られたら息ができない時もあるし」

バレーボールチームの選手だったソジュン(仮名)は今年3月、脈拍が不規則になる不整脈の疑い症状と膝関節炎と診断され、バレーボールの夢を諦めました。

診療過程でソジュンは訓練過程を初めて打ち明け、医師は児童虐待の疑い申告をしました。

[ソジュン(仮名)/〇〇小バレーボールチームの選手]

「訓練の時、ボールをもらえなかったらXXか狂ったXだと。訓練を受けるより死んだ方がましだと思いました。コーチがバレーボール部であったことは言うなど。。」

虐待被害を受けたという学生は全部で3人です。

コーチは先月職位解除され、児童虐待の疑いで警察の取り調べを受けています。

実はコーチは一昨年も児童虐待の疑いで裁判にかけられましたが、証拠不十分で無罪を言い渡されました。

当時、他の選手の両親は弁護士費用も支援し、嘆願書も裁判所に出してコーチをかばいました。

[元〇〇小バレーボールチーム選手の両親(保護者間通話)]

「お母さんたちも口をそろえたし、お母さんたちも知っていながら話さないの…〇〇は息子のお尻に跡が残った。でも、ただじっとしているんだ。自分の子供がうまくいくように」

同じ被害が繰り返されたことに対して学校は「一日中 CCTV を見なければならぬのか」「被害児童の両親はなぜ知らなかったのか」と反問しました。

[チョン・ヨン Chol/スポーツ人権研究所事務所長]

「その時、正確に間違っただけを断ち切っていたら、その次に起こる被害者は生まれません。」

探査企画「ストレート」はコーチに何度も電話し、携帯メールを残しましたが、答えはありませんでした。

他の親たちは子供たちが運動も好きでコーチも好きだとし、暴力に目をつぶったこともないと反論しました。

MBC ニュースのチェ・ギョンジェです。

出典：https://imnews.imbc.com/replay/2023/nwdesk/article/6481245_36199.html

02 女性東亜 2023. 05. 04

仁川広域市重量挙げ連盟役員、学生へのセクハラもみ消し疑惑



仁川のある高校重量挙げ部コーチであり、仁川広域市重量挙げ連盟の役員が女子生徒たちを相手に不必要な身体接触をしたことが分かり、議論を呼んでいる。さらに仁川広域市重量挙げ連盟が該当事件と関連して嫌疑なし処分を下し論難は増幅した。学生たちは連盟の嫌疑なし決定に対して「該当コーチと年度連盟内部関係者の親交のため」と主張する。

学生たちによると、A コーチは姿勢を正すという名目で、女子生徒たちのお尻や足などをバドミントンラケットでなでながら何度も「足を広げて」と叫んだという。ラケットで頭を殴ったりもした。両手にバーベルを持っていて身動きが取れない状況で突然手で太ももの内側を触ったりもした。

結局、ある生徒が学校長に A コーチの身体接触に対して不快感を訴え、A コーチは口頭警告を受けた。

しかし、指導方式は大きく変わっていない。その後も A コーチは公開的な場所で学生に「お前はお腹の肉が多い方がいいか、ない方がいいか。女がお腹の肉が多くて良いのか？」と話したりもした。A コーチは学生たちの恨みが高まると「自律訓練」という名目で消極的に練習を指導した。これと関連して保護者側は「事実上学生たちを放置した」と主張した。

A コーチの消極的な指導に生徒側は 2022 年 4 月、学校側に正式に問題提起をした。該当事案は規定により仁川広域市教育庁に回付されたが、教育庁は学校と共同で調査を進めた結果「セクハラ・性暴行とは判断されない」と結論付けた。教育庁に上記のような結論に至った経緯を尋ねると「性不正と関連した敏感な事案であり、詳しい調査過程は当事者だけに知らせる」という返事が返ってきた。学生側は教育庁の嫌疑なし結論に対して「教育庁は重量挙げ部学生たちの証言を中心に調査を行ったが、狭い業界特性上学生たちがコーチに不利な証言をしにくい環境だった」と主張した。

「タッチしなくても十分指導可能」

今回の事件と関連し、20年近く青少年重量挙げ選手を指導してきたある指導者は「Aコーチのような訓練法は、かなり昔から行われていた方式だ」とし「最近のように青少年選手の感受性が敏感な時代には許されない訓練法」と話した。これまで数多くの女子重量挙げ選手を育ててきたこの指導者は「身体接触など性的羞恥心を誘発するトレーニング法でなくても、選手たちをうまく指導できる方法はいくらかもある」と強調した。

重量挙げ部の学生たちは、練習期間中に合宿生活をしたという。ある保護者は「子供たちが家に帰る度に泣きながら『コーチの訓練方式がおかしくて学校に行きたくない』と話した」と伝えた。

結局、該当事案は同年10月、文化体育観光部傘下のスポーツ倫理センターに回付された。スポーツ人権センターは「性暴力とは相手の意思に反して行われる性的言動、相手の性的自己決定権を侵害するすべての行為」と定めており、これには「望まない身体的接触」「不快な性的言語を含む」と規定されている。

スポーツ倫理センターは調査結果、Aコーチの暴力、性暴力、セクハラ、悪口の疑いを認め、Aコーチが所属している仁川広域市重量挙げ連盟に懲戒委員会機能をする「スポーツ公正委員会」を開き懲戒を勧告すると通知した。

これに対し仁川広域市重量挙げ連盟は12月21日、スポーツ公正委員会を開き被害学生たちを呼んで意見を聴取する時間を持った。だが連盟側は「その程度の身体接触は常にあると判断され、暴力およびセクハラとは判断されない」としてAコーチに嫌疑なしの決定を下した。Aコーチと学生たちの意見が相反する中、スポーツ公正委員会は仁川広域市教育庁の判決を核心証拠として採択し、嫌疑なしの決定を下した。

これに対し学生たちは直ちに異議申し立てを申請し、2月24日スポーツ公正委員会が再び開かれた。だが、今回も委員会は「セクハラ、セクハラ事件は一段落した」という理由で再議論過程を経ないままAコーチの消極的な訓練指導だけを議題として扱い「けん責」懲戒を下した。Aコーチがスポーツ公正委員会に回付された期間、被害生徒たちは他の指導者に訓練を受け、他の高校に転校しなければならなかった。公取委の決定に対する被害学生側の主張は次の通りだ。

「公取委当時、委員たちがAコーチを擁護する態度を見せた。Aコーチは仁川で長い間指導者生活をしており、連盟内の公正委員らと親交があるしかない。これに加えて形式的に被害学生側の意見を聞いた後、スポーツ倫理センター懲戒通知以前に行われた教育庁の調査結果を根拠に嫌疑なし決定を下したことは納得し難い」

Aコーチは現職の仁川広域市重量挙げ連盟役員であり、仁川で20年近く指導者生活を送ってきた。学生たちの主張に対して仁川広域市重量挙げ連盟スポーツ公正委員会所属のある委員は「委員は2年ごとに変わり、該当懲戒事案のために任意で公正委員が変わったわけではない」という立場を堅持した。取材陣は公取委に委員リスト公開を要求したが、委員は「連盟がリストを公開する義務はない」として拒否した。国民体育振興法第18条の8によると、体育指導者が所属している機関はスポーツ倫理センターが文体部を通じて懲戒を要請する場合、正当な理由がなければこれに従わなければならない。文体部は仁川広域市重量挙げ連盟の嫌疑なし措置について「その結果が適当か検討中」と明らかにした。

●釜山では待機発令、海外では資格停止

一方、昨年4月、釜山市体育会のある実業チームでも、男性指導者が棒で女性選手たちの身体に接触しながら指導していたことが議論になった。不快を訴えた女性選手3人がチームを離れ、釜山市体育会は該当監督に待機発令措置を下した。

海外でも同様の事例があった。昨年10月、カナダ重量挙げ連盟傘下の地域重量挙げチームで3人の女性選手が信頼関係が形成されていないにもかかわらず、男性コーチが背中と足を手で触ったり、性的羞恥心を与える発言をしたと問題提起した。地方裁判所は男性コーチに嫌疑なしの判決を下したが、重量挙げチームは内部倫理綱領（性的羞恥心誘発発言）を違反したという理由でコーチに8ヵ月間の資格停止処分を下した。

出典：<https://woman.donga.com/issue/3/40/12/4133239/1>

03 OSEN 2023.05.08

孫興民に向けた人種差別、今季3度目「また？鳥肌が立つ」人権団体爆発



孫フンミン（31、トッテナム）が再び人種差別行為にさらされた。これを見た人権団体も怒りに耐えられなかった。

英国のデイリーメールは7日（以下韓国時間）、「不名誉にも孫興民が今シーズン人種差別を受けたのは一度ではない」とし、「サッカー人権団体『キック・イット・アウト』も声明を発表して怒った。彼らは現在の政策にも疑問を提起した」と報じた。

と報じた。

孫フンミンは6日、英国ロンドンのトッテナム・ホットスパースタジアムで行われたクリスタルパレスと2022-2023シーズンプレミアリーグ(PL)35ラウンド対決に先発出場した。左MFとしてピッチを地道に駆け回っていた彼は、後半44分、アルナウト・ダンジュマと交代して競技場を抜け出した。

孫フンミンはパレスのファンがいる遠征席の前を通過して出てきた。ホームファンは彼に起立して拍手を送ったが、敗北に直面したパレスファンは彼にブーイングを浴びせた。

ここまでは大きな問題はないが、ある深刻なファンは孫フンミンを眺めながら指で目を引き裂いた。明白な東洋人卑下であり人種差別行為だった。デイリーメールは「あるファンは目を横に引っ張りながらソン・フンミンに悪口を浴びせた。また、カメラで彼を撮影しながらまるで観光客をあざ笑うような行動も見せた」と指摘した。

今季だけで、すでに3度目の人種差別だ。孫フンミンは昨年チェルシー戦でも人種差別の標的になり、2月ウェストハム戦以後にもソーシャルメディアで人種差別メッセージを受けた。

さらに先週には「スカイスポーツ」解説者マーティン・タイラーが孫フンミンに向かって「武芸(Martial arts)をしている」という発言まで吐き出した。当時、目を裂くジェスチャーを取ったチェルシーファンは3年間競技場出入りが禁止されたが、他の人たちに教訓を与えるには足りなかったようだ。

トッテナムとパレスは強硬対応に出た。トッテナムは「孫フンミンがパレスとの試合で人種差別にあったという事実を認知している」とし「警察、クリスタルパレス球団と協力して捜査しており、個人身元を確認中」と話し、パレスもやはり「警察に証拠資料を共有した。身元が確認できればクラブ出入り禁止措置を取る予定」と明らかにした。

キック・イット・アウトも同様の声明を出した。彼らは「孫フンミンがまた人種差別的虐待の標的になったという知らせを聞いて鳥肌が立つ。彼がこのような嫌悪感のある差別を甘受するよう強要されたのは今回

が初めてではない」とし「(交替される) 選手が最も近い位置から競技場を離れるようにする政策が彼らの人種差別にさらされる危険に陥らないか検討しなければならない」と声を高めた。

続いてキックアウトは「我々は球団と警察が今回の事件に迅速に対応したことを称賛する。また加害者たちはクラブ出入り禁止刑を受けなければならないというパレスの立場を共有する」と付け加えた。

出典：<http://osen.mt.co.kr/article/G1112099640>

04 中央日報 2023.05.04

娘を産んだ MVP バスケットボール伝説・・・平昌銀の金ボルムが気になったこと



2022年の合計出生率0.78人。少子化で危機を迎えた分野は一つふたつではない。スポーツ界だからといって例外ではない。特に、選手志願者が見つからない非人気種目の場合、競争力どころか種目存廃を心配する立場だ。

「安定した選手生活のために結婚する」という男子選手とは異なり、女子選手の結婚・出産比率は一般人にはるかに及ばない。

中央日報は「未婚選手」金ボルム(30)と「母親指導者」チョン・ジュウォン(51)に会い、女子選手の苦情を聞いた。チョン・ジュウォンは妊娠を理由に引退したが、2年ぶりにコートに復帰して優勝し、MVPまで受賞した。現在は指導者として活動中の立志伝的人物だ。

チョンコーチは「04年アジア選手権大会で五輪出場のチケットを取った後、テストをしてみたら妊娠だった。当時33歳で未練なく引退し、娘を産んだ後、コーチを務めた。選手に復帰する気はなかったが、所属チームの説得の末コートに戻り、結局40歳で引退した」と話した。

すると、2018年平昌五輪マスタート銀メダリストのキム・ボルムは「チョンコーチの話を聞いて不思議だ。スピードスケートは体力が重要な種目なので、20代半ばにはほとんどやめる。それで私が最古参だ。しかし、出産すれば体力が落ちるのではないかと尋ねた。チョンコーチは「産後養生をFM(教範)通りにした。体を温めるために100日間靴下も脱がずにストレッチをしたら、10日で15kg痩せた。筋肉量が落ちたが、ノウハウがあるので体が早く戻ってきた。姑が育児を手伝ってくれたのが大きな助けになった」と話した。

金ボルムが「いつか結婚と出産をしたいし、年を取ってもスケートがしたいが、二つのうちひとつをあきらめなければならないなら悲しい。指導者になる考えもあるが、結婚後も可能かどうか分からない」と悩みを打ち明けた。指導者として10回優勝したチョンコーチは「娘が幼い頃、お母さんに会いたい」とガイドブックの写真を見て泣いた。「家で子供みたい」と言われるのではないかと怖かった。コートでもっと頑張ったのは、子供に恥ずかしくない母親になるためだった」と話した。彼女はまた「ボルム選手も恐れずスピードスケートで結婚と出産と以後にも熱心に活動すれば後輩たちが感謝するだろう」と付け加えた。

中央日報がスポーツ界の少子化問題取材する過程で会ったある選手は「暗黙的に『契約期間に妊娠は禁止』という認識が広まっている。このようなチームが多いだろう」と伝えた。激しい種目のある既婚選手は「頻繁な長期合宿のせいで子供が出来ず夫と仲が良くない」と打ち明けたりもした。

自治体で運営している職場運動競技部は、勤労基準法によって90日の出産休暇と最大1年6ヵ月の育児休職を有給で保障する。ただ、指導者と該当チームの了解が避けられない。江原道庁所属のキム・ボルムは「もし私も妊娠したらチームから出なければならぬかもしれない。子供を望む選手に配慮する制度があればと思う」と話した。女子選手を指導しているチョンコーチは「もし選手が出産後に復帰する意志があるなら機会を与えなければならぬと思う」としながらも「ただプロスポーツは結局会社（親会社、球団）の事情が重要なのが現実だ。育児休職を保障することも容易ではない。運動選手だけのための特恵があれば、一般人が逆差別を受けると感じることもある」と吐露した。

2020年国家人権委員会の調査によると、女性体育人125人のうち半分以上は出産休暇と育児休職制度があるかさえ知らないことが分かった。2021年の韓国女性政策研究院の調査では「妊娠期間にトレーニング時間を管理できるなら選手生活ができるか」という質問に268人の回答者のうち62%以上が「そうだ」と答えた。

国民人権委員会と権益委員会の勧告で、文化体育観光部は昨年韓国スポーツ開発院と出産後の運動法、復帰過程に向けた研究を進めている。朴スジン先任研究委員は「韓国の女性選手のうち78%が育児問題が解決されれば選手生活を続けたい」と答えた。解決策を見出すための努力が必要だ」と述べた。

出典：<https://www.joongang.co.kr/article/25160018>

05 韓国生活体育ニュース 2023. 05. 02

スポーツ倫理センター、2023 ソウルハーフマラソンに参加



スポーツ倫理センター（李ウンジョン理事長）が先月30日、朝鮮日報が主催する2023ソウルハーフマラソン大会に10人余りの職員が参加し、体育界の不正と人権侵害予防などの広報キャンペーンを繰り広げた。

この日、スポーツ倫理センターはマスコットであるミオ人形仮面とQRコードが押されたバナーを準備し、マラソン大会に参加する参加者たちに写真撮影および機関広報を進めることで、生活体育人たちにも体育の公正性と体育人の人権保護の重要性について知らせた。

今大会では生活体育人たちと一緒に走りながら体育界の不正と人権侵害を予防し、公正で民主的な体育界文化造成の先頭に立つために計画された。

イ・ウンジョン理事長は「スポーツ倫理センターは今後も生活体育人と共に望ましいスポーツ文化造成のために努力していく」と明らかにした。

出典：<http://www.kstnews.co.kr/news/articleView.html?idxno=25647>

06 週間スポーツニュース

同好会がサッカー場全部独占・・・文化体育観光部、公共体育施設の点検に乗り出す

https://news.itbc.co.kr/article/article.aspx?news_id=NB12125390

忠北道民体育大会 D-3・・・嶺東郡、大詰めの広報に拍車

<http://news.tf.co.kr/read/national/2016370.htm>

松坡区、「区民体育大会」5月11日蚕室室内体育館で開催

<http://www.ewestoday.co.kr/news/articleView.html?idxno=1659891>

京畿道教育庁、お父さんと共にする体育活動を運営中

<https://www.sportsseoul.com/news/read/1310529?ref=naver>

忠清北道鎮川郡、二月に多目的体育館竣工

<http://news.tf.co.kr/read/national/2016273.htm>

済州島、室内体育館の段階的改善策作り

<https://news.kbs.co.kr/news/view.do?ncd=7669639&ref=A>

「より良い競技、城南で希望を！」京畿道体育大会

https://newsis.com/view/?id=NISX20230508_0002293666&cID=14001&pID=14000

龍仁特例市、職場運動競技部運営費3億ウォン確保

<https://www.newspim.com/news/view/20230501000054>

IOC委員長に会った中国首相「スポーツの政治化に反対する」

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20230507014200083?input=1195m>

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。
私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援お願いします。
国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>